

## 平成 22 年度 第 1 回 文化財保護委員会会議録

■日時：平成 22 年 6 月 22 日（火）午後 7 時から午後 8 時 20 分

■場所：郷土資料館会議室兼資料取扱室

出席者：島村圭一委員長、中村誠二副委員長、新井浩文委員、長谷川清一委員、岩上孔昭委員

桐川弘子教育長、青木秀雄館長、河井伸一主査、横内美穂主任

### 会議次第

- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 委嘱状の交付
- 4 委員長、副委員長の選出
- 5 議題
  - (1) 平成 22 年度事業計画について
    - ① 文化財保護委員会事業計画について
    - ② 郷土資料館の事業概要について
  - (2)文化財の指定について
  - (3)その他

### 会議概要

- あいさつ（教育長）
- 委嘱状の交付  
期間平成 22 年 4 月 1 日から平成 24 年 3 月 31 日まで
- 委員長・副委員長の選出。  
事務局に一任。事務局より委員長島村圭一氏、副委員長中村誠二氏を提案。  
一同了承
- 事業計画について報告

### 会議録

あいさつ（島村委員長）

島村委員長 それでは議事に移らせてもらいます。平成 22 年度事業計画の内、文化財保護委員会の事業計画について事務局お願いいたします。

青木館長 文化財保護委員会の事業計画は年 3 回となっています。今回は郷土資料館の事業計画が中心で、11 月の第 2 回会議からは指定文化財の検討が中心となります。今後 2 年かけて文化財の指定について検討していく事となりま

す。

島村委員長

それでは、文化財保護委員会の事業計画について何か質問はありますか。

島村委員長

ないようなので、事務局案を了承という事で宜しいですか。

一同

了承。

島村委員長。

次に郷土資料館の事業計画について、事務局説明お願いいたします。

青木館長

それでは、文化財保護事業からご説明します。文化財保護委員会ですが、指定文化財候補の検討ということで、今回を含めまして、年3回開催する予定です。文化財補助事業への補助では、五社神社本殿の防災設備点検事業への補助をする予定です。県が50パーセント、町が25パーセント補助している状況です。調査関係では水塚、建築物等の調査を行う予定です。収集・整理では、諸家文書、行政文書、図書資料、写真資料、民俗資料などの収集・整理を行う予定です。郷土史講座は11月から12月に特別展に併せ行う予定となっています。

続いて埋蔵文化財発掘調査事業のご説明をします。個人住宅の試掘調査や発掘調査、平成18・19年度山崎遺跡、平成3年度の地蔵院遺跡、昭和49年度の身代神社遺跡の整理作業を行う予定です。埋蔵文化財発掘調査報告書の刊行は金原遺跡発掘調査報告書と昭和49年度身代神社遺跡と平成3・8年度の地蔵院遺跡の報告書を作成する予定です。

次に埋蔵文化財発掘調査受託事業について説明致します。道仏土地区画整理事業に伴う特に整理作業について計画的に進め、報告書刊行を目指していきたいと思っております。

資料館管理運営事業について、展示関係からご説明します。特別展といたしまして「江戸時代の絵図」を実施する予定です。企画展では3本予定され、現在行っている「山崎遺跡発掘出土品展」、次は「みやしろの動物たち」を行う予定です。これは、埼玉県立自然の博物館とのタイアップ事業です。3つめ「收藏品で語る宮代の民俗」の予定となっています。季節展示関係では、旧加藤家住宅において五月人形と雛人形を展示する予定です。講座・体験学習についてご説明します。企画展関連講座といたしましては「みやしろ歴史散歩」として笠原沼のホツケや東武動物公園駅周囲を歩きます。みやしろB級グルメみやしろ棒ギョーザも試食する予定です。演劇としては移築民家と「アタラシイ」ゲキ7を、お話し会としては「かやぶき民家で聞く昔話」をみやしろお話し会スウズの方々にお話し会を実施する予定です。夏休み体験教室としては「郷土資料館へ行こう！」を実施します。この他、縄文土器づくりや古文書講座を実施する予定です。

啓発・普及といたしましては、総合学習・学校見学の対応、中学生社会体験チャレンジ事業、学芸員実習の受入れなどを行う予定です。また、資料

- 館日より「えんがわ」を3回発行します。本年度の事業計画は以上です。
- 島村委員長 ここまでで質問があればお願いします。
- 長谷川委員 報告書の刊行のところで身代神社遺跡とありましたが、遺跡の内容を教えてください。
- 青木館長 全部で100平米ぐらいの調査で土坑は6・7基程検出されました。深さ2m位で標高7mの場所から遺物が多数出土しました。
- 河井主査 学園台団地を造成する際に行われた発掘調査です。道仏北遺跡と出土した遺物の時代が同じようです。
- 岩上委員 身代神社の所の池に古代蓮のような蓮がありますけど、あれはどれくらい古いものでしょうか。
- 長谷川委員 その蓮を見た事がないので分かりませんが、以前、庄和町時代に見た目の特長などを調べた事がありますので、その報告書を参考していただければ、古代蓮であるか分かると思います。
- 島村委員長 他に質問があればお願いします。
- 新井委員 展示に関して2つほど質問をします。江戸時代の絵図展はどのような展示にする予定ですか。みやしろ歴史散歩とタイアップする予定はありますか。次に宮代の自然・動物たちですがどのような展示を行うのですか。
- 河井主査 宮代町には結構大きな絵図が残っていて、それを展示する予定です。詳しい事はまだ決まっていませんが、新井委員の話の通り、郷土史講座、歴史散歩と絡めて行いたいと考えています。以前、特別展「宮代町と岩槻城」の展示の時に展示・講座・見学会の3つを絡め好評を得ましたが、同じような形で出来たらと考えています。
- 青木館長 みやしろの動物たちですが、県立自然の博物館の学芸員と打ち合わせしながら進めている状況です。町内には蝶の研究家の方もいて、その方にも協力して頂いています。
- 新井委員 宮代町に剥製とかあるのですか。
- 青木館長 いいえ、展示物は自然史博物館で宮代に生息する動物の剥製を借りて展示する予定です。
- 横内主任 町の環境部局で平成8年頃、町域の環境資源情報調査で動植物の調査を行ったのですが、それを基に計画しています。原稿は専門家の方に書いてもらって、郷土資料館では編集やパネル作成を行うということです。
- 島村委員長 宮代町郷土資料館では自然の展示については初めてだと思いますが、新しい客層を増やす事を考えて企画したのですか。
- 青木館長 ちょうど、夏休みという事もあり、子供たちにも多く来てもらいたいと考えています。
- 岩上委員 私は昨年、幸手、粕壁、杉戸の3宿の歴史散歩に参加したのですが、非

常に好評だったと思います。今回の歴史散歩は町内ということですが、他の参加者も言っていました、栗橋や古河等の先の宿場や久喜についても歴史散歩をやって欲しいとっていました。今年は無理でしょうから、来年以降考えてください。

島村委員長  
岩上委員

他に何かありますか。

今私は、学校関係資料を調べていますが、学校関係資料は校長が変わると全てなくなってしまう可能性がありますので何らかの対応をとるよう検討してもらいたいと思っています。また、須賀小学校のカエデやカヤの木  
の伝説も殆ど現在の人に伝わっていません。この他の話も伝わっていない事から学校でこのようなことについても教えて欲しいと思います。また、カヤの木、カエデの木については樹木医に見てもらいたいです。鎌倉のイチョウの木も大風で倒れてしまいました。カエデやカヤの木が心配でなりません。

島村委員長

学校関係資料の保存についてと、カヤやカエデの文化財指定については分けて考えたいと思います。カヤやカエデについては以前の文化財指定候補に入っていますが、樹齢で100~120年という事ですが、その歴史的背景も考えてどうですか。

横内主任

西光院のカヤはもっと古いと思いますので年代的に見ると厳しいかと思っています。

河井主査

文化財（天然記念物）に指定をするかどうかは関係なく、樹木医に見てもらいたいと思います。木の健康状態がどうなのか、良くないのであれば、どのような手立てで改善することが出来るのかを考える必要があります。

桐川教育長

樹木医の先生については、知り合いがいますので協力してもらえと思っています。

島村委員長

次に、学校関係資料についてですけど、私も学校関係者なので分かりますが、学校関係資料は殆ど残りません。しかし、文化財保護委員会で網をかけることは難しいとも思えます。

岩上委員

本当に学校というところは、校長が変わるとこれまで残してきたものとかを平気で捨てる人がいます。極端な事をいうと須賀小学校のカエデやカヤでさえ、切るという校長が出てくるかもしれません。PTA広報誌も殆ど残っていません。

桐川教育長

須賀小学校のカエデやカヤは学校をあげて、小学校のシンボルとして保存していこうという事になっているため、校長が変わっても大丈夫です。話は変わりますが、以前、文化財保護委員会で岩上先生に取り上げて頂いたドングリピアノについては、小学校の道徳の教材にする事になりまして、今検討しているところです。

- 新井委員 学校の資料を保存又は収集することについては、機会が必要かと思えます。学校史などの編さんが一番良いといえます。最近では高校等で古い建物を記念館として残し、そこに古い資料を展示するところも多くなっています。調査をかけるには、それなりの理由が必要といえます。
- 島村委員長 以前、新井委員が発言していましたが、明治5年から数え、学制140周年の2012年（平成24年）に学校関係の展示会を行い、そこに向けて、学校やその他、町民宅から資料を収集するというのは良いのではないのでしょうか。百間小学校は明治5・6年に開校してますよね。
- 桐川教育長 明治6年に百間小学校と須賀小学校が開校しています。
- 島村委員長 岩上先生がPTA広報誌の話を出していましたが、毎月1回出される学校便りなどはPTA広報誌以上に残っていません。しかし、非常に貴重なものといえます。資料を収集するにはやはり、学校史や特別展などが良いと思いますが、確か以前、百間中学校の学校史でも写真を収集していましたが、それらの写真はどうしたのでしょうか。
- 河井主査 町史編さんの通史編作成の際、百間学校記念史「ゆずりは」の写真を利用したいと思い聞いたのですが、その写真はすべて所有者に返してしまったそうです。そのため、通史編では「ゆずりは」の本を接写して利用しました。
- 島村委員長 写真を町の貴重な資料としての認識ではなく、単に本に使用するというのみで借用したため複写することもなく返却したと考えられます。
- 青木館長 学校日誌も保存されない状況といえますが、東小学校（川島分校）の戦前から戦後頃の学校日誌は郷土資料館に寄贈されています。カスリーン台風時の水害状況も分かり非常に貴重といえます。
- 桐川教育長 この学校日誌は学校のものというより、町にとって貴重ということですね。本当に岩上先生は学校関係資料について熱心で、こういう人が文化財保護委員にいるうちにどうかしないといけないですね。
- 島村委員長 次に文化財の指定について、事務局お願いいたします。
- 青木館長 文化財の指定については本年度から2ヵ年かけ、指定していきたいと思えます。今回配らせて頂いたものは候補ですので、次回までに他の候補も含め調査等を行い、考えて来て頂きたいと思えます。
- 島村委員長 昨年まで2年かけ検討し、今年の4月に2件指定いたしました。今年から2年かけ検討していく事になりますので、それぞれで調査等進めて頂ければと思います。それでは、議事が終わりましたので、事務局へお返しいたします。
- 青木主幹 それでは、以上をもちまして、平成22年度第1回文化財保護委員会を終了させていただきます。